大阪城
2020 8/17 (月) 14094号
金曜漫画 西成分会
ごんす 6647-4947

熱ぶのも、あと20日ぐらいだろうか、盆も
敗戦75年、8/15敗戦の日も通りすぎていった。
しかし、時間とは違って、同じ目には見えない
のだが、新コロナウイルスだけは、1万分の1ミリ
以下だが、タンパク質の物質として、存在し、
残っている。日本もアメリカの後を追うように
うまくやれてなくて、数に一喜一憂しながら、
確実に現実は、アメリカ化していっている。
もう、アベノミクスとか、言わなくなったが、景気は
2年も前から下り坂で、10%消費税で悪くなり
その上に、今年に入り、コロナで最悪になってきて
いる。倒産、失業の恐慌状況が、いっそう激しく
なってきそうである。その上に、最近の大阪は
コロナの陽性率が10%以上であり、とりわけ、
高齢者、貧乏人には、ストレートに生命の危機
に直面する日々が続いている。
政治は、11/3トランプの生死が決まる前に、オリンピック
中止が決まる前に、10/25(日)総選挙とかのウワサも
週刊誌では予想されているらしい。内閣改造、
臨時国会だとかて、今の政治なんかではダメだろう

お盆が終わって後半戦スタート
コロナが近づいて、労働市場もどうなることやら‥

盆も通り過ぎて「一応仕事の再開」と言うことになりますが、例年のペースからすると、一旦現金仕事がなくなってしばらくは復帰しないのですが‥。

今はコロナが全国的に猛威をふるっていて、「労働市場」としても仕事が減って惨憺たる状況が続いてきましたが、さらに一段と近づいてきているようなので厳しい事態になってきてるようです。さらに

猛暑が続きます

日雇い現場の仕事を頂けどうなるか心配ですが

40度に迫るとんでもない温度があと一週間か10日ほど続き。熱中症・「命の危険」が迫るようできをつけないとあぶないです。

暑さの峠を越えるには

あとひと山ふた山あるようです。

最近特掃以外の「建設現場」に出る労働者がめっきりへって「労働市場の再生」が危ぶまれますが、どうでしょう。